2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	スポーツ科学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	アスレティックトレーナー演習Ⅰ(ゼミ)	必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	60　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎401
担 当 教 員	井上　佳子/中山広基	実務経験とその関連資格	井上:Wリーグ女子バスケットボールトレーナー3年、日本女子ソフトボールリーグ塩野義製薬トレーナー3年、女子ラグビー15人制S&Cコーチ　他　中山:日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、はり師・きゅう師 社会人ハンドボールチームHC彦根ヘッドトレーナー3年/滋賀県成年男子ハンドボール代表チームヘッドトレーナー3年		

《授業科目における学習内容》

より実践的にAT合格に向けて学びます。知識を明確にし自らの知識を机上や実際の現場でも使えるように取り組みます。

《成績評価の方法と基準》

1. 定期試験:　70　%
2. レポート:　20　%
3. グループワーク中の態度・発表:　10　%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

基礎科目テキスト

《授業外における学習方法》

指定している教科書を事前に読んでおくこと。
授業内に小テストを行うことがあるため予習復習をしておくこと(不定期)

《履修に当たっての留意点》

今まで学んだ集大成を発揮してください。頑張りましょう。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第1回問題演習		
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第1回シャッフル問題実施と採点、第2回問題解説		
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第2回シャッフル問題実施と採点、第3回問題解説		
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第3回シャッフル問題実施と採点、第4回問題解説		
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第4回シャッフル問題実施と採点、第5回問題解説		

授業の方法		内　　容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第5回シャッフル問題実施と採点、第6回問題解説		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第6回シャッフル問題実施と採点、第7回問題解説		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第7回シャッフル問題実施と採点、第8回問題解説		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第8回シャッフル問題実施と採点、第9回問題解説		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第9回シャッフル問題実施と採点、第10回問題解説		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第10回シャッフル問題実施と採点、第11回問題解説		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第11回シャッフル問題実施と採点、第12回問題解説		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第12回シャッフル問題実施と採点、第13回問題解説		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	第13回シャッフル問題実施と採点、第14回問題解説		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT合格率の向上に向け、問題を自己解説できるようになる。	基礎科目テキスト	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	まとめ		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	スポーツ科学科	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	アスレティックトレーナー演習Ⅰ(ゼミ)	必修/選択の別	選択必修	授業時数(単位数)	60　(2)　時間(単位)
対 象 学 年	2年生	学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎401
担 当 教 員	井上　佳子/中山広基	実務経験とその関連資格	井上:Wリーグ女子バスケットボールトレーナー3年、日本女子ソフトボールリーグ塩野義製薬トレーナー3年、女子ラグビー15人制S&Cコーチ　他　中山:日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、はり師・きゅう師 社会人ハンドボールチームHC彦根ヘッドトレーナー3年/滋賀県成年男子ハンドボール代表チームヘッドトレーナー3年		

《授業科目における学習内容》

【基礎】①解剖②内科③外傷・障害④心理⑤栄養⑥バイメカ⑦運生⑧トレ科【応用】①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題を理解出来るようになる

《成績評価の方法と基準》

1. レポート課題:　70　%
2. 出席点:　20　%
3. グループワーク中の態度・発表:　10　%

《使用教材(教科書)及び参考図書》

AT教本AT教本

《授業外における学習方法》

指定している教科書を事前に読んでおくこと。
授業内に小テストを行うことがあるため予習復習をしておくこと(不定期)

《履修に当たっての留意点》

トレーナーとして現場で使える知識・技術を学ぶことで合格へ役立てる

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第17回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第18回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第19回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第20回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第22回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第23回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第24回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第25回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第26回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第27回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第28回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第29回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	応用科目総合演習①ATの役割②検査・測定と評価③ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ④アスレティックリハビリテーション⑤救急処置⑥ATとしての常識問題		
第30回	演習形式	授業を通じての到達目標	AT資格に直結した合格指導を通し、AT範囲の理解、実技、知識としてアウトプットできるようになる。	AT教本各種	授業範囲を把握 必要用語を学習し 用語集の作成
		各コマにおける授業予定	まとめ		